

通 告 順	議席番号	通 告 者
8	1 5	高 橋 晃

1 本町の教員の現状と課題および今後の取り組みについて

OECD加盟国等34カ国、地域を対象とした国際教員指導環境調査の結果が本年6月に公表された。この調査は、学校の学習環境と教員の勤務環境に焦点をあてた国際的な調査である。その結果、校内研修等で教員が日頃から共に学び合い、指導や意欲の改善に結び付けている点は参加国平均より高い回答率が示されたが、教員の勤務時間が参加国中もっとも長く、人員不足感が大きいこと。教員の研修への参加意欲は高いが、業務多忙や費用、支援不足が原因で参加が困難になること。教員は生徒の主体的な学びを引き出すことに対する自信が低く、情報通信技術(ICT)の活用等の実施割合も低いことが課題として示された。

本町でも子どもの生きる力を重視し、思考・判断・表現力をバランスよく育成する教育の実現のためには、教育環境の急激な変化に対応し、常に学び続ける意識の高い教員の確保が必要である。そのためにも、定期的、継続的に研修を受けられる環境の整備と充実は不可欠であると考えます。これらの点について、下記のことを伺う。

- (1) 本町の教員の現状はどのような状況にあるのか。
- (2) (1)を踏まえ、本町の抱える課題について伺う。
- (3) (2)で示された課題を踏まえ、今後の取り組みについて伺う。

2 本町の小学校の英語教育の現状と課題および今後の取り組みについて

2011年度から小学校5,6年生で英語が必修化されたが、以下について伺う。

- (1) 本町の英語教育の現状はどのような状況にあるのか。
- (2) (1)を踏まえ、本町の英語教育における課題について伺う。
- (3) (2)で示された課題を踏まえ、今後の取り組みについて伺う。

3 医療・介護総合推進法成立に伴う本町の対応について

2025年に、第一次ベビーブーム世代が75歳以上の高齢者となることを踏まえ、医療・介護の見直しと持続可能なサービス提供体制を確立することを目指し、医療・介護総合推進法が本年6月に参議院で成立した。地域の

実情を踏まえ、都道府県がその地域のサービス構想を策定することになる。
このことに対する本町の対応を伺う。

- (1) 本町でも実情を踏まえ、独自に医療・介護のビジョンを策定すべきではないか。
- (2) 今後、個別訪問を軸に、きめ細やかな指導を行う必要性があるため、行政における保健師の雇用・育成を積極的に行うべきではないか。
- (3) 医療福祉政策に精通した職員を養成すべきではないか。

通告順	議席番号	通告者
9	2	高野孝一
<p>1 投票率の向上について</p> <p>過去2回の町長選挙、3回の町議会議員選挙それぞれの投票率が低下している。様々な要因はあると思うが今後、対策を図っていくべきと考える。投票率の推移、投票率低下原因、投票率向上の啓発等について伺う。</p> <p>2 わたり温泉島の海の経営戦略について</p> <p>10月に3年7カ月ぶりの再オープンとなるわたり温泉島の海は、観光拠点である亘理・荒浜の復興のシンボルと考える。来客者は未知数とは思いますが、毎月の利用人数、年間を通しての誘客イベントなどの計画をしっかりと立て、赤字にならない経営は必要である。経営戦略、組織等について伺う。</p> <p>3 臨時福祉給付金の申請手続きについて</p> <p>消費税引き上げに際し、26年度の住民税が課税されていない方への措置として、臨時給付金が支給されている。しかし、本町では課税されている方にも案内が出されていた。対象外の方にとっては大変困惑したと聞いているが、経費節約の点からも非課税者に案内を出すべきではなかったのか。</p>		

通 告 順	議席番号	通 告 者
1 0	1 7	佐 藤 實

1 災害危険区域の土地売却について

災害危険区域で土地を売却したことにより、所得が発生した場合の負担等について伺う。

70歳後半の二人暮らしの老夫婦、夫は介護施設に通所している。生活費は国民年金で賄い、生活している。町に70坪の土地を300万円で売却した。低所得者でもあり、一時的な所得の増加により、新たな保険料等の負担が発生し困っている。一時的な支払いにせよ特例や緩和策はないのか、次の4点を伺う。

- (1) 本町における同様の対象者は何人いるのか。
- (2) 売却に伴う保険料等負担増の説明を行ったのか。
- (3) 危険区域となり、やむなく土地を売却した場合の介護サービスの負担額軽減緩和はできないのか。
- (4) 土地の売却で負担が増えて困っている。本町としての対策と対応は。

2 土地利用ゾーニングについて

荒浜地区土地利用計画方針と吉田地区土地利用計画方針が全員協議会に示され、荒浜漁港計画案も同時に発表された。2年もかけて計画した割には、予想通りの内容で目新しい部分がない。しかし、計画を策定したからには全力で進んでほしいので、次の5点について伺う。

- (1) 完成目標は何年を見込んでいるのか。
- (2) 同時進行は不可能と思うが、どこのゾーンから始まるのか。
- (3) 個人所有地の買収が進まない所のエリア区分の方針は。
- (4) ゾーニング地西側、横山囲い周辺の土地利用は考えているのか。
- (5) 財源計画についてどのようにするのか。

通 告 順	議席番号	通 告 者
1 1	3	熊 田 芳 子

1 消費者行政について

(1) 高齢者の方が多額のお金をだまし取られたとの報道が毎日のようにされている中で、被害者を出さないための対策をこれまで以上に講ずる必要があると考えるが、町長の見解を伺う。

(2) 消費者生活相談窓口にはどのような相談が寄せられ、どう対応されているのか。

(3) 啓発活動の中で、児童・生徒に対しても大切な教育の一環であると考えているが、どのように取り組まれているのか。

(4) 亙理警察署生活安全課と密に連携を取りながら、消費者被害の防止に努めているのか。

2 本町の児童・生徒の保健室登校の実態は

財団法人 日本学校保健会の調査によると近年、学校の保健室で自習をして過ごす児童・生徒が急増しているとあるが、本町の小・中学校における実態はどのようなになっているのか。

通 告 順	議席番号	通 告 者
1 2	1	鈴 木 洋 子

1 荒浜海水浴場の整備計画について

(1) 海水浴場の海開きは町民が待ち望んでいる。整備はまだ始まっていないようだが、海水浴場の前に公衆トイレ、水飲み場を早急に整備すべきと考えるが、今後の計画状況を伺う。

(2) 海水浴場整備計画にキャンプ場を設置する考えはあるのか。

2 わたり温泉鳥の海の充実について

- (1) 温泉を中心とした健康増進のためにもスポーツ器具などを設置し、スポーツジムで汗を流し、その後に温泉に入ってもらおうという考えはないか。
- (2) 温泉施設内のホールでの飲食はどこまで可能なのか。やはり、町民は1日ゆっくりくつろぎたいのが現状である。そこで飲食物の持ち込みは可能なのか。
- (3) 温泉の足湯は町民のコミュニティー広場として、とても重要な場所である。今後再開を考えているのか。
- (4) わたり温泉鳥の海観光PRについて、町に温泉観光PR課を設置してはどうか。

通告順	議席番号	通告者
13	10	渡邊健一
<h3>1 農業後継者について</h3> <p>本町の認定農家目標は270戸であるが、現在の認定農家数は189戸である。その中で、農業後継者がいる農家は63戸あるが、本町の農業後継者対策について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 農業後継者を確保するためにどのような方策を考えているのか。(2) 農家の花嫁対策としてどのような施策をし、結婚した人は何組いるのか。(3) 農業後継者育成のためにも農業の法人化を推進すべきと思うが、どのように考えているか。(4) 農業を希望する人を募集し、農業技術を習得する農業インターン事業を推進し、全国に情報を発信すべきと思うが、どのように考えているか。		